

# 2年生授業シラバス

教育課程表 . . . . . 1

(令和4年度入学生)

共通教科に関する科目 . . . . . 2

専門科目に関する科目 . . . . . 8

(福祉)

福祉科2年(令和4年度入学生)

## ケアワーカー フィールド

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
現代の国語		公共		数学I		生物基礎		体育		保健		英語コミュニケーションII	介護福祉基礎			コミュニケーション技術		生活支援技術			介護過程		介護総合演習	介護実習			こころからの理解			HR		

## 子ども福祉 フィールド

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
現代の国語		公共		数学I		生物基礎		体育		保健		英語コミュニケーションII	保育基礎				フードデザイン			手芸		保育音楽		生活支援技術		介護実習		HR	

現代の国語

教科	国語	単位数	2	学科・学年	福祉科 2年生
使用教科書	新編現代の国語（数研出版）				
副教材等	常用漢字の1・2トライ（浜島書店） 国語常識ベーシック（数研出版）				

◇ 科目の目標 ◇

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  
 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  
 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き手の意図をつかむ</li> <li>文章の展開を把握する</li> <li>対比を読み取る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の表現について、筆者の意図やその効果を考える。</li> <li>論の展開を整理して、本文の要点をつかむ。</li> <li>二つの文化の比較を通じて、筆者の思考をたどる。</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き手の考えを比較する</li> <li>根拠を読み取る</li> <li>社会の中の文章</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の主張を読み取る。</li> <li>本文の結論を踏まえて、「差」が持つ意味を考察する。</li> <li>説得力のある企画書を書く方法を知る</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

国語は、皆さんが小学校からずっと学んできたなじみの深い教科だと思います。中学校や高校1年生で学んだ内容を踏まえてさらに継続して学習していきます。さまざまな文章を読み味わい、理解を深めましょう。また、自分の意見を発表したり、他人の意見を聞き取ったりする力を身に付けましょう。

教科	公共	単位数	2	学科・学年	2年
使用教科書	高等学校『公共』（教育図書）				
副教材等	高等学校『公共』ワークノート（教育図書）				

◇ 科目の目標 ◇

現代の諸課題を追究する主体的な活動を通して、グローバル化する国際社会に対応する方法、平和で民主的な国家及び社会をつくる方法をともに考え、自立した主体（大人）となるための資質・能力を身に付ける。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前 期	第1章 公共の扉 1 公共と人 2 功利主義と義務論 3 公共と基本原理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が公共的な存在であるということ、社会に参画する自立した主体（大人）となるためには、まず、対話が重要であるということ</li> <li>を、自分の体験を踏まえて考察し表現する。</li> <li>・現実社会で起きている様々な人権問題や差別問題について、その解決方法を考察し表現する。</li> <li>・様々な法が自分の生活にどのように関係しているか、司法制度を真に国民の権利を守るためのものとするために何ができるかを事実に基づいて考察し表現する。</li> <li>・民主的政治体制を構築するために、自分にできることを事実に基づいて考察し表現する。</li> <li>・領土・安全保障問題等について、事実に基づいて考察し、自分の考えを表現する。</li> </ul>
	第2章 現代社会の諸課題 1 法 2 政治 選挙と政治参加 ・ 公正な世論の形成 国会と内閣 ・ 地方自治 国家主権と領土問題 ・ 安全保障と防衛 21世紀の国際情勢 ・ 国際社会と日本	
	3 経済 職業選択 ・ 雇用と労働 労働者の権利 ・ 財政の役割 租税の仕組みと国債 少子化と社会保障 市場経済の役割と限界 金融の働き ・ 日本銀行と金融政策 グローバル化と経済統合 格差是正と多文化主義	
	第3章 持続可能な社会へ	
後 期		<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用と労働の現状と問題、財政の役割と租税の仕組みについて、まもなく社会人になることを自覚して、考察し表現する。</li> <li>・少子化と社会保障問題、市場経済の限界、金融の働きと政策について、まもなく社会人になることを自覚して、考察し表現する。</li> <li>・グローバル化、格差是正、多文化主義について、まもなく社会人になることを自覚して、考察し表現する。</li> <li>・SDGsについて基本的知識をもち、自分の主体的な行動がその実現につながることを考察し表現する。</li> <li>・より良い地域社会を構築するために、具体的にどのような行動が有効かを考察し、自分の考えを表現する。</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、態度、関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) プリント・ワークノートの記載内容

プリントに授業内容を適切にまとめているか、プリントをしっかりとファイリングしているかなどを評価する。

(3) 提出物

課題提出物の取組、内容から評価する。

(4) 定期考査

学習内容に即した問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分が大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

平和的で民主的な社会をつくるために何が 필요한のか、みんなで考えていきましょう。そのためには、普段から、新聞やニュース、テレビのドキュメンタリー番組や教養番組に多く接し、見聞きしたことについて友人や家族といっぱい話して、世の中に対するアンテナを広げましょう。それはきっと楽しいことですよ。

## 数学 I

教科	数学	単位数	2	学科・学年	福祉科 2年生
使用教科書	高校数学 I 新訂版				
副教材等	高校サブノート 数学 I 新課程版				

### ◇ 科目の目標 ◇

- ・三角比では図形の辺の長さや角度、面積を効率的に計算ができるようにします。
- ・実社会で必要な計算力を養います。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第3章 三角比	・「三角比」では $\sin$ $\cos$ $\tan$ を使って、辺の長さ、角度、面積等を効率的に計算できるようにします。
後期	第4章 集合と論証 第5章 データの分析	・「集合と論証」では、論理的な思考を、数学の記号を用いて考え、解き明かします。 ・「データの分析」では、近代統計学の基礎を簡単なデータ分析を通して学びます。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

高校1年生のときに習った数学 I の続きを学びます。さまざまな問題を考えて解いていき、理解を深めましょう。また、自分の考えをもち、他人と教え合いを大切にして数学的に考察し処理する能力を伸ばすと共に、それらを活用する態度を身に付けましょう。

生物基礎

教科	理科	単位数	2	学科・学年	福祉科・2学年
使用教科書	高校生物基礎（実教出版株式会社）				
副教材等	アクセスノート生物基礎				

◇ 科目の目標 ◇

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 生物の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の多様性と共通性の視点を身に付け、生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造とはたらきを学び、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解します。</li> <li>・生物と遺伝子について、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解し、DNAの情報に基づいてタンパク質が合成される過程を学びます。</li> </ul>
	1節 生物の多様性と共通性	
	2節 生物とエネルギー	
	第2章 遺伝子とその働き	
後期	1節 遺伝情報とDNA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し、体内環境の維持と健康との関係について認識します。</li> <li>・ヒトには異物を排除する防御機構がそなわっており、それにかかわる細胞や器官を学びます。</li> <li>・生態系の成り立ちや、生態系内の生物どうしの関わり合いを学び、バイオームの分布を植生の遷移と関連づけて理解します。</li> <li>・森林保全の意義と具体的なとり組みについて学び、生態系のバランスを保つための活動を理解することで、自然環境の保全に寄与する態度を育てます。</li> </ul>
	2節 遺伝情報とタンパク質の合成	
	第3章 ヒトのからだの調節	
	1節 体内環境	
	2節 体内環境の維持のしくみ	
	3節 免疫	
	第4章 生物の多様性と生態系	
	1節 生態系とその成り立ち	
2節 植生とバイオーム		
3節 生態系と生物の多様性		
4節 生態系のバランスと植生		

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもあります。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断します。評価の観点のうち、特に【主体的に学習に取り組む態度】の項目を評価します。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価します。

(3) 観察・実験等

観察・実験等を行い、レポートを書きます。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価します。評価の観点のうち、【思考・判断・表現】に関する配分が大きくなります。

(4) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価します。

(5) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題します。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分が大きくなります。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・身近にある自然や科学的な話題(新聞、雑誌、ニュースなど)に関心をもち、考えてみましょう。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもちましょう。
- ・学んだことを記録し、発表する方法を身に付けましょう。

体育
----

教科	体育	単位数	2	学科・学年	福祉2年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	現代高等保健体育ノート				

◇ 科目の目標 ◇

- ・生涯にわたり運動に親しむことができるようにします。
- ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。
- ・公正、協力、責任や健康、安全に留意する態度を身に付けます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	体育の授業について	ソフトボール、バスケットボール（男子）
	体づくり運動	バドミントン、ダンス（女子）
	集団行動	ダンス、サッカー（女子）
	体育理論	体育理論
後期	体づくり運動	ダンス（男子）
	集団行動	ソフトボール（女子）
	体育理論	バドミントン（女子）
	体育理論	体育理論

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・体育という授業は将来の皆さんの健康に大きく役に立つ教科です。
- ・身体を動かすことが好きな子、苦手な子いると思いますが、積極的に活動に参加してくれることを期待しています。

保健

教科	保健体育	単位数	1	学科・学年	福祉2年生
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）				

◇ 科目の目標 ◇

- ・個人及び社会生活における健康安全について理解を深めます。
- ・生涯を通して自らの「身体的・精神的健康管理」を考え、改善していくための資質や能力を育成します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康</li> <li>・妊娠、出産と健康</li> <li>・家族計画と人工妊娠中絶</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期における体の発達や行動面・心理面の特徴を理解します。</li> <li>・家族計画の意義と避妊法及び人工妊娠中絶の心身に及ぼす影響を理解します。</li> <li>・高齢者の健康課題や総合的対策について理解します。</li> <li>・医療保険の仕組みを理解します。</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染と健康</li> <li>・健康被害の防止と環境対策</li> <li>・環境衛生活動のしくみと働き</li> <li>・食品衛生活動のしくみと働き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の原因、健康への影響を理解します。</li> <li>・環境汚染防止について理解します。</li> <li>・食品の安全と私たちの役割について理解します。</li> <li>・働くことと健康の相互影響について理解します。</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・保健の授業は日々の生活に大きくかかわっている内容です。
- ・皆さんの知識が増えるのはもちろん、他の教科とつながりがある教科なので積極的に参加してください。

英語コミュニケーションⅡ

教科	外国語	単位数	2	学科・学年	福祉科・2学年
使用教科書	All Aboard! English Communication II (東京書籍)				
副教材等	All Aboard! English Communication IIワークブック (東京書籍)				

◇ 科目の目標 ◇

日常的・社会的な話題について、事前に準備したり、参考資料を活用したりすれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	Pre-Lesson My Plans for This Year Lesson 1 A Colorful Island Lesson 2 With the Beatles Lesson 3 Wild Men Lesson 4 Little Hero etc.	世界各地の観光名所や世代を超えて受け継がれている音楽、各国の伝統的な行事について理解を深め、調べ学習を行う。身近な観光名所や音楽について英語で表現する。
後期	Let's Listen 2 Lesson 5 Special Makeup in Kabuki Reading 1 Mujina Lesson 6 Seeds for Future Generations etc.	世界自然遺産や歌舞伎メイク、古典物語や異色の取り組みについて読解し、理解を深める。調べ学習をし、自分でやってみたい活動や身近な伝統文化について英語で表現する。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) Performance Test への取り組み

授業内容を基に、自分の意見や考えを表現しているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

1年生では、世界各地の名所や歴史的な偉人、日本の興味深い職業や文化、そして最新テクノロジーと幅広いトピックについて英語で学習しました。今年度は、その知識を基に、さらに深く幅広いテーマについて学びます。自分の考えや調べたことを英語で発表する場面も増えます。グループやペアと協力して、英語で考えや意見をわかりやすく表現することを目指しましょう！



## 介護福祉基礎

教科	福祉	単位数	3	学科・学年	福祉科・2年生
使用教科書	介護福祉基礎（実教出版）				
副教材等	介護福祉基礎 学習ノート（実教出版） 最新・介護福祉士養成講座 第2巻 社会の理解（中央法規出版）				

### ◇ 科目の目標 ◇

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、人間の尊厳を支え自立支援を行うために必要な資質・能力を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 介護について幅広く理解し、関連する技術を身に付けます。
- (2) 介護に関する課題を発見し、職業人としての倫理観を踏まえ解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) 健全で持続可能な社会の構築を目指して自ら学び、適切な介護の実践に主体的・協動的に取り組む態度を養います。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の意義と役割</li> <li>・介護を必要とする人の理解と介護</li> <li>・介護を必要とする人の生活環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護従事者の専門性や倫理</li> <li>・高齢者や障害者の尊厳を支える介護</li> <li>・移動や食事、排せつなどの介護方法</li> <li>・身体、知的、精神障害などの特徴や支援方法</li> </ul> <p style="text-align: right;">【前期中間考査】【前期期末考査】</p>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉の担い手</li> <li>・介護福祉サービスの概要と連携</li> <li>・介護における安全確保と危機管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護従事者をとりまく状況</li> <li>・介護福祉士の役割</li> <li>・多職種連携とチームケア</li> <li>・介護事故の対策方法</li> <li>・防災対策</li> <li>・福祉用具と介護ロボット</li> </ul> <p style="text-align: right;">【後期中間考査】【学年末考査】</p>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割について学びを深めます。
- ・介護を適切に行う能力と態度を身に付け、介護福祉を担う者としての倫理観を養います。
- ・介護を取り巻く状況などについて知り、福祉について興味・関心をもてるよう取り組みましょう。

コミュニケーション技術

教科	福祉	単位数	2	学科・学年	福祉科・2年生
使用教科書	コミュニケーション技術（実教出版）				
副教材等	なし				

◇ 科目の目標 ◇

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、対人援助や福祉実践の場での人間関係の構築に必要な資質・能力を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 対人援助について幅広く理解し、関連する技術を身に付けます。
- (2) 対人援助の展開に関する課題を発見し、職業人としての倫理観を踏まえ解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) 健全で持続可能な社会の構築を目指して自ら学び、適切な対人援助に主体的・協働的に取り組む態度を養います。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	・介護におけるコミュニケーション ・サービス利用者や家族とのコミュニケーション	・コミュニケーションの意義と役割 ・コミュニケーションの基本技術 ・援助の技法とコミュニケーション ・サービス利用者や家族との関係づくり 【前期中間考査】【前期期末考査】
後期	・サービス利用者や家族とのコミュニケーション ・介護におけるチームのコミュニケーション	・サービス利用者に応じたコミュニケーション ・記録 ・チームによる連携 ・スーパービジョンの技法 【後期中間考査】【学年末考査】

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・対人援助に必要な知識などコミュニケーション技術について学びを深めます。
- ・コミュニケーションを通して、人間関係がより築きやすくなるための技法をお互いに練習しましょう。

生活支援技術

教科	福祉	単位数	4	学科・学年	福祉科・2年
使用教科書	生活支援技術（実教出版）				
副教材等	・最新・介護福祉士養成講座 第12巻 発達と老化の理解（中央法規出版） ・最新・介護福祉士養成講座 第15巻 医療的ケア（中央法規出版）				

◇ 科目の目標 ◇

福祉の見方・考え方を働かせて、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な基礎的な資質・能力を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 自立生活について理解し、支援に関する知識や技術を身に付けます。
- (2) 自立生活の支援に関する課題を発見し、職業人としての倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的・協働的に取り組む態度を養います。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 人間の成長と発達の基礎的知識	・人間がどのように発達するのかを知り、各年代での発達課題について学習します。
	第2章 人間の発達段階と発達課題	
	第1章 医療的ケア実施の基礎	・利用者の生命を守り、利用者の生活を現状から少しでも快適な生活に近づけること、また、利用者の生きる意欲を引き出すことのできる知識・技術を学習します。 ・喀痰吸引・経管栄養を安全に実施できるように基本的な知識と手順を習得します。
	第2章 喀痰吸引	
第3章 経管栄養		
	第4章 演習	
後期	第3章 老年期の特徴と発達課題	・老化とは何か、また、からだの変化による心の変化についての知識を学習します。
	第4章 老化にともなうところとからだの変化と生活	
	第4章 演習	・演習は6項目5回以上行います。 口腔内・鼻腔内吸引・気管カニューレ内部吸引 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

喀痰吸引・経管栄養という医療行為の一部を一定の要件の下に実施できるように手順の習得をします。

## 介護過程

教科	福祉	単位数	2	学科・学年	福祉科・2年生
使用教科書	介護過程（実教出版）				
副教材等	最新・介護福祉士養成講座 第9巻 介護過程 第2版（中央法規出版）				

### ◇ 科目の目標 ◇

他の科目で学習した知識や技術を統合して、個別援助計画を立案し、介護過程を展開し、適切な介護サービスを提供できる能力を身に付けます。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 介護過程とは	・介護過程とは ・介護過程における事例検討・事例研究の必要性 ・介護過程の展開 ・アセスメント 【前期中間考査】 ・介護計画の立案 ・介護の実施 ・評価 【前期期末考査】
	第2章 介護過程の理解	
後期	第3章 介護過程の実践的展開	・介護過程の実践的展開 ・「介護過程」の展開の実際 【後期中間考査】 ・介護過程とケアマネジメントの関係性 ・チームアプローチにおける介護福祉士の役割 【学年末考査】
	第4章 介護過程とケアマネジメント	

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・ 具体的事例を用いて介護過程の展開について学びます。
- ・ ICFの概念を取り入れ、利用者の潜在能力を引き出し、活用・発揮することの意義について学びます。
- ・ 自立度や生活の場に応じた介護、医療、保健との連携協働を必要とする介護、終末期における介護の展開など、様々な利用者の状況に応じた介護過程の展開を学びます。

介護総合演習（ケア）

教科	介護総合演習	単位数	1	学科・学年	福祉科ケアワーカーフィールド 2年
使用教科書	なし				
副教材等	楽しく学べるマナーの基本（教育図書） 実習の手引き・実習ノート（本校オリジナル）				

◇ 科目の目標 ◇

介護演習や事例研究などの学習を通じて、専門的な知識と技術の深化、統合化を図るとともに、課題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てるために、以下のことを大切にします。

- (1) 地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けます。
- (2) 地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探索し、化学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域社会や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとする態度を養います。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	実習施設事前調査	実習記録の書き方、レポートのまとめ方 自己評価票の付け方、事例発表の仕方 実習に関わるコミュニケーション方法
	実習報告	記録の確認、反省・評価 次回実習の準備
後期	実習施設事前調査	実習記録の書き方、レポートのまとめ方 自己評価票の付け方、事例発表の仕方 実習に関わるコミュニケーション方法
	実習報告	記録の確認、反省・評価 次回実習の準備

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・ 科目「介護実習」と組み合わせ、介護実習前や実習中、実習後にまとめて学習します。
- ・ 実習に必要な知識や技術を学び、力を身に付けていきましょう。

介護実習（ケア）

教科	介護実習	単位数	4	学科・学年	福祉科ケアワーカーフィールド 2年
使用教科書	なし				
副教材等	なし				

◇ 科目の目標 ◇

介護に関する体験的な学習を多様な介護現場において行い、知識と技術を統合させ、介護従事者としての役割を理解させるとともに、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 介護及び支援の実践について体系的・統計的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けます。
- (2) 介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組もうとする態度を養います。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	介護実習Ⅰ—③ グループホーム、小規模多機能型居宅介護での実習（9日間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者を理解し、コミュニケーションを実践する。</li> <li>・要介護者や障がい者等に対するサービス提供全般における施設の介護業務の理解を深める。</li> <li>・日常生活援助に関する介護能力を深める。</li> </ul>
後期	介護実習Ⅰ—④ 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設での実習（8日間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技術を習得する。</li> <li>・スーパービジョンを受けながら、チームの一員として介護を行う能力を養う。</li> <li>・介護福祉士の自覚を育み、職業倫理を習得する。</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において、個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について学びましょう。

## こころとからだの理解

教科	福祉	単位数	3	学科・学年	福祉科・2年生
使用教科書	なし				
副教材等	最新・介護福祉士養成講座 第13巻 認知症の理解 (中央法規出版) 最新・介護福祉士養成講座 第14巻 障害の理解 (中央法規出版)				

### ◇ 科目の目標 ◇

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護を実践するための人間の理解に必要な資質・能力を育成することを目指します。

- (1) 自立生活の支援に必要なこころとからだについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- (2) 自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けます。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けます。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の基礎的理解</li> <li>・認知症の中核症状</li> <li>・認知症のケアの歴史と理念</li> <li>・障害の概念と障害者福祉の基本理念</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症とは何か</li> <li>・認知症の中核症状、行動・心理症状</li> <li>・認知症ケアの理念と視点</li> <li>・障害の概念、基本理念、関連する制度</li> </ul> <p style="text-align: right;">【前期中間考査】【前期期末考査】</p>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアの実際</li> <li>・介護者支援</li> <li>・認知症の人の地域生活支援</li> <li>・障害別の基礎的理解と特性に応じた支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人への各生活場面のケア、環境づくり</li> <li>・家族、介護福祉職への支援</li> <li>・多職種連携と協働</li> <li>・障害のある人の心理、肢体不自由、視覚障害 等</li> </ul> <p style="text-align: right;">【後期中間考査】【学年末考査】</p>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・認知症や障害により介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割について学びを深めます。
- ・認知症や障害を踏まえた介護を適切に行う能力と態度を身に付け、介護福祉を担う者としての倫理観を養います。
- ・認知症や障害を取り巻く状況などについて知り、福祉について興味・関心をもてるよう取り組みましょう。

保育基礎

教科	家庭	単位数	6	学科・学年	福祉科子ども福祉フィールド・2年
使用教科書	保育基礎（実教出版）				
副教材等	2023 生活学N a v i				

◇ 科目の目標 ◇

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	1章 子どもの保育 2章 子どもの発達 3章 子どもの生活	・ 保育の意義 ・ 子どもの発達の特性 ・ 子どもの心身の発達 ・ 子どもの生活と養護 ・ 健康管理と事故防止 保育技術検定3級への取り組み
後期	4章 子どもの文化 5章 子どもの福祉 保育所実習 読み聞かせ講習会 高大連携授業（保育美術講習会・人形劇講習会）	・ 子どもの遊びと表現活動 ・ 子どもの福祉 ・ 子育て支援 保育技術検定2級への取り組み

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に【主体的に学習に取り組む態度】の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

幼児教育に必要な子どもに関する知識を身に付け、保育実習で発達段階に応じたふれあいができるよう、様々な技術を身に付けていきましょう。



## フードデザイン

教科	家庭	単位数	3	学科・学年	福祉科・2年生
使用教科書	フードデザイン 新改訂 (実教出版)				
副教材等	イラスト調理BOOK (実教出版)、2022 生活学 Navi (実教出版)				

### ◇ 科目の目標 ◇

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- (2) 食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養います。
- (3) 食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	4章 調理の基本	・調理とおいしさ ・調理操作 ・調味操作
	1章 食生活と健康	・食事の意義と役割 ・食をとりまく現状
	2章 栄養素のはたらき	・体の仕組みと食べ物 ・栄養素の特徴と働き
	食物調理技術検定4級に向けて調理実習	・基礎的・基本的な調理技術の習得 ・日常食の調理
後期	2章 食事計画	・食事摂取基準と食事計画 ・ライフステージと栄養計画
	6章 フードデザイン実習	・献立作成
	3章 食品の特徴・表示・安全	・食品の特徴と性質 ・食品の選択と表示 ・食品の衛生と安全
	5章 料理様式とテーブルコーディネート 食物調理技術検定3級に向けて調理実習	・料理様式と献立 ・テーブルコーディネート ・調理の基礎的技術と献立作成の基礎となる知識の習得 ・日常食の調理

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・食生活をデザインすることは生活を変えることにつながります。ライフスタイルが多様化し、社会の状況が日々変化していく中で、自身の食生活を見直し、課題を発見して改善することができるように、食に関する知識と実践力を身に付けていきましょう。
- ・食物調理技術検定3級合格を目指します。主体的に学習に取り組みましょう。

## 手芸

教科	家庭	単位数	2	学科・学年	福祉科子ども福祉フィールド・2年
使用教科書	なし				
副教材等	一生使えるおさいほうの本				

### ◇ 科目の目標 ◇

- (1) 基礎的な被服製作および手芸の種類と特徴及び各種手芸の技法について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けようとする。
- (2) 幼児教育に必要な用具を製作する上で、被服製作および手芸の技術を用いて創造的に解決する力を養う。
- (3) 手芸品の作成および手芸技法を用いた幼児教育に必要な用具の製作において、創造的な製作と主体的に取り組む態度を養う。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	基礎縫い 手芸の種類と特徴 手芸製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎縫い（手縫い・ミシン縫い）</li> <li>・基礎縫いを用いた作品製作</li> <li>・刺し子、刺繍</li> </ul>
後期	手芸製作 保育実習で使用する玩具製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アップリケ、パッチワーク</li> <li>・パネルシアター</li> <li>・エプロンシアター</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

- 下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。
- (1) 授業への取り組み  
授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に【主体的に学習に取り組む態度】の項目を評価する。
  - (2) ノートの記載内容  
授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。
  - (3) 教科書・問題集の問題  
各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。
  - (4) 中間・定期考査  
学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分が大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・被服製作の基礎を学び、手芸の技法を習得し、保育実習で使用できる玩具作りに活かせるようにしましょう。
- ・幼児教育の現場に必要な技術を身に付けていきましょう。

保育音楽

教科	家庭	単位数	2	学科・学年	福祉科 2年生
使用教科書	なし				
副教材等	全音標準バイエル・ピアノ教則本（全音楽譜出版社）、こどものうた200（チャイルド本社）				

◇ 科目の目標 ◇

- ・子どもの発達に必要な音楽・リズム表現について学び、将来、保育現場で活躍するために必要な基礎的な知識と実践力を習得します。
- ・学習成果の確認として、保育技術検定の合格を目指します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・童謡歌唱</li> <li>・ピアノ演奏</li> <li>・楽典の基礎</li> <li>・手遊び歌</li> <li>・保育技術検定3級</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱の基礎的な表現技術を身に付けます</li> <li>・バイエルNo. 60程度のピアノ演奏技術を身に付けます</li> <li>・楽典の基礎を学びます</li> <li>・手遊び歌を習得し、実践的な力を身に付けます</li> <li>・ピアノ演奏と童謡歌唱の基礎的な表現技術を測ります</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・童謡歌唱</li> <li>・ピアノ演奏</li> <li>・器楽演奏</li> <li>・楽典の基礎</li> <li>・保育技術検定2級</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱の基礎的な表現技術を身に付け、実践します</li> <li>・バイエルNo. 80程度のピアノ演奏技術を身に付けます</li> <li>・ハンドベルなどの簡単な器楽演奏ができるようにします</li> <li>・楽典の基礎を学びます</li> <li>・ピアノ演奏と童謡歌唱の表現技術の定着を図ります</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

将来、保育現場で活躍するために必要な音楽に関する基礎的な知識と技術を学びます。ピアノ演奏には、日々の練習の積み重ねが重要です。主体的に取り組みましょう。保育技術検定2級合格を目指します。

生活支援技術（子福）

教科	生活支援技術	単位数	1	学科・学年	福祉科子ども福祉フィールド 2年
使用教科書	生活支援技術（実教出版）				
副教材等	なし				

◇ 科目の目標 ◇

福祉の見方・考え方を働かせて、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な基礎的な資質・能力を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 自立生活について理解し、支援に関する知識や技術を身に付けます。
- (2) 自立生活の支援に関する課題を発見し、職業人としての倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的・協働的に取り組む態度を養います。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	自立に向けた生活支援技術 ・家事の介護 ・身じたくの介護 ・食事の介護	・家事の意義と目的 ・家事支援における介護技術 ・身じたくの意義と目的 ・食事における介護技術 【前期期末考査】
後期	・入浴・清潔保持の介護 ・排せつの介護 ・レクリエーションにおける介護	・生活を支える入浴・清潔保持の介護 ・自立生活を支える排せつ介護 ・レクリエーションにおける介護技術 【学年末考査】

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・ 1年生で学んだ知識や技術をさらに深めていきます。
- ・ 高齢者だけでなく、多様な利用者に対応できる技術を身に付けていきましょう。

介護実習（子福）

教科	介護実習	単位数	2	学科・学年	福祉科子ども福祉ワーカーフィールド 2年
使用教科書	なし				
副教材等	なし				

◇ 科目の目標 ◇

幼児の発達の特徴や乳幼児の生活と保育などについて、専門的な知識と技術を深め、乳幼児とのふれあいから具体的な保育に関する理解を深めるとともに、障がい児教育などにも目を向け、子どもの健全な成長に関心を持ち、主体的に取り組もうとする意欲と実践的な態度を育てるために、以下のことを大切にします。

(1) 介護及び支援の実践について体系的・統計的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けます。

(2) 介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

(3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的かつ協働的に取り組もうとする態度を養います。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	オリエンテーション 実習施設事前調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育実習の意義と目的</li> <li>・ 実習記録の書き方、レポートのまとめ方</li> <li>・ 実習に関わるコミュニケーション方法</li> </ul>
後期	保育実習に向けて 保育実習（保育所7日間） 実習報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習書類準備</li> <li>・ 子どもの活動の理解</li> <li>・ 記録の確認、反省・評価</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み  
授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容  
授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題  
各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査  
学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・ 保育所等の児童福祉施設において、倫理的に学んできた内容や技術を実践的に身に付けます。
- ・ 他科目で学んだ知識・技術を総合的に理解し、保育現場で実践しましょう。

## 生活支援技術

教科	生活支援技術	単位数	4	学科・学年	福祉科ケアワーカーフィールド 2年
使用教科書	生活支援技術 (実教出版)				
副教材等	最新・介護福祉士養成講座 第12巻 発達と老化の理解 (中央法規出版) 最新・介護福祉士養成講座 第15巻 医療的ケア (中央法規出版)				

### ◇ 科目の目標 ◇

生活支援や自立に向けた生活支援、緊急時、災害時の支援、終末期の支援、医療的ケアなどについて、サービス利用者主体の生活支援の在り方を理解するとともに関連する技術を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 自立生活の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けます。
- (2) 自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 医療的ケア 第2章 喀痰吸引 第3章 経管栄養	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の尊厳と自立・医療的ケアの概要</li> <li>・医療の倫理と医療的ケアに関連する法規</li> <li>・医療的ケアにおける介護従事者の役割</li> <li>・感染予防・滅菌と消毒・療養環境の清潔と消毒法</li> </ul>
	第1章 人間の成長と発達の基礎的知識 第2章 人間の発達段階と発達課題 ・排泄・リフト・入浴・洗髪・清拭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理とヒヤリハット・アクシデント・救急蘇生法</li> <li>・健康状態（バイタルサインを含む）と急変状態の把握と対応</li> <li>・安全に医療的ケアを提供する重要性</li> </ul>
後期	第4章 演習 演習は6項目5回以上行う 口腔内・鼻腔内吸引・気管カニューレ 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸器系の構造と機能</li> <li>・喀痰吸引の基礎的知識</li> <li>・喀痰吸引の必要物品と清潔保持</li> <li>・喀痰吸引（口腔内・鼻腔内・気管カニューレ）の実施手順と留意点</li> <li>・シュミレーターを用いた演習</li> </ul>
	第3章 老年期の特徴と発達課題 第4章 老化にともなうこととからだの変化と生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器系の構造と機能・経管栄養の基礎的知識</li> <li>・経管栄養の必要物品と清潔保持</li> <li>・経管栄養（胃ろう・腸ろう・経鼻）の実施手順と留意点</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はこれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

・実践的な授業を通じて、利用者の生命を守り、利用者の生活を現状から少しでも快適な生活に近づけること、また、利用者の生きる意欲を引き出すことのできる知識・技術を学習します。

・喀痰吸引・経管栄養を安全に実施できるように基礎的な知識と手順を身に付けていきましょう。